

AUTOBACS SUPER GT 2020 SERIES Round.3 SUZUKA CIRCUIT

August 22 - 23 2020

Qualify : 22nd Race : 10th



粘りの追い上げが結実。総合力で今季2回目の得点を勝ち取る

新型コロナウイルス感染拡大の影響で大幅にスケジュールが変更され、富士スピードウェイで開幕から2連戦が行われた 2020 年の SUPER GT。第3戦からは舞台を移し、三重県の鈴鹿サーキットで行われることになった。富士とはまったく性格が異なるコースであり、事前にタイヤメーカーテストには参加していたものの、8月の酷暑のなかでのレースは誰も経験していない。

今回も PACIFIC - D'station Racing は、エースの藤井誠暢のパートナーとして、開幕2戦でアグレッシブな走りを見せてくれたケイ・コッツオリノを起用する。ミシュランタイヤのパフォーマンスが鈴鹿というコースでどう発揮されるか、チームは期待をもって8月23日(土)の予選日に臨んだ。

気温 32℃という酷暑のなか、午前 10 時にスタートした公式練習では、藤井がステアリングを握りコースイン。9周目には 1 分 59 秒 412 というベストタイムをマークすると、16 周をこなしピットイン。コッツオリノに交代すると、7周してふたたびピットへ。再度藤井が乗り込み、午後の予選に向け4番手と好位置で終えることになる。

今季の2戦では予選は比較的好調ではあったが、この鈴鹿はオーバーテイクが非常に難しく、グリッドは重要。午後2時 30 分からの公式予選に向け、藤井を Q1 のアタッカーに据え挑んだ。

今回も組分けが採用された Q1 のB組に

出走した藤井は、しっかりとタイヤを温めアタックするも、オーバーステアに苦しむことになる。1 分 59 秒 657 という公式練習同様のタイムをマークするが、コンディションの変化がライバルのタイムアップもあり、B 組 12 番手という結果に留まってしまう。Q2 進出はならず、PACIFIC NAC D'station Vantage GT3 は 22 番手から戦うことになった。

とはいえ、鈴鹿はレイアウトもタイトで、かつこの酷暑。レースは違う展開になるはずだ。迎えた8月 23 日(日)の決勝で、PACIFIC NAC D'station Vantage GT3 は 22 番手からスタートを切った。

気温 32℃という暑さのなか、スタートドライバーを務めた藤井はポジションを守りながらオープニングラップを終えるが、GT300 クラスの争いのなかでクラッシュが起き、1周目からセーフティカーが導入される。ただリスタート後も、いまひとつ藤井のペースは上がらない。スタート時に履いていたタイヤでは、いかに藤井と言えどバランスに苦しみ、下位のままペースを上げられないのだ。

コクピットの藤井とピットは連絡を取りながら、このままではロスの方が大きいと判断。早めのピットインを行うことを決断する。ところが GT500 クラスが 17 周目に入ったところ、バックストレートで GT500 マシンのパーツが落ち、レースはふたたび

セーフティカー導入となった。

このセーフティカー明けとなる 21 周目、藤井はピットインし、コッツオリノに交代する。非常に迅速なピット作業で藤井が履いていたものとは異なるタイヤを装着した PACIFIC NAC D'station Vantage GT3 は、その後導入された3回目のセーフティカーの後、各車がピットストップを終えてみると、15 番手まで順位を上げた。しかもコッツオリノのフィーリングは良好だ。

他車のアクシデントやペナルティなどで、35 周目には 14 番手、37 周目には 13 番手へと順位を上げるコッツオリノ。さらに 41 周目には #25 ポルシェをかわし 11 番手まで浮上する。さらに 47 周目、3 番手を争っていた #55 NSX GT3 が戦線を離脱すると、待望のポイント圏内となる 10 番手まで順位を上げた。

GT500 のウィナーが目前でチェッカーを受けたこともあり、ファイナルラップの GT300 クラスの混乱のなかさらなる順位アップはならなかったが、コッツオリノは 10 位でフィニッシュ。貴重な1ポイントを持ち帰った。レース後、軽い熱中症になるほどの頑張りをみせたコッツオリノと、藤井のフィードバック、そしてチームの総合力が生んだ得点と言えた。チームはさらなる順位アップを目指し、第4戦の舞台となる3週間後のツインリンクもてぎへ向け、改めて準備を進めていく。

COMMENTS

**Motoki Jinno** PACIFIC - D'station Racing Team Representative

公式予選まではタイヤとうまくコミュニケーションがとれていませんでしたが、決勝レースに向けてチームスタッフ、エンジニア、そしてドライバーがタイヤをしっかりと理解してくれたことがポイント獲得に繋がったのではないかと考えます。また今回のレースは、今まで以上にチームが一丸となって戦えたと感じています。次戦のモチベーションに向けては、クルマは本当に調子がいいので、それにマッチしたタイヤを選ぶことができれば、良い結果が残せるのではないかと思いますので、しっかりと準備を進めていきたいですね。

**Satoshi Hoshino** D'station Racing Team Principal

正直、公式予選では22番手だったのでポイント獲得は難しいと思っていましたが、チーム全員がノーミスでレースを戦ってくれたので、予選順位を考えると最高の結果ではないでしょうか。タイヤについても試行錯誤していて、序盤は藤井選手が苦しみましたが、後半はケイ選手がうまくタイヤの性能を発揮してくれたと思います。予想以上の結果になりました。タイヤのことも少しずつ分かってきましたので、さらに順位を上げていければと思っています。皆さん応援ありがとうございます。

**Kazuhiro Sasaki** General Manager

やはり「あきらめないこと」は大切ですね。もともとあきらめずに頑張ろうとみんなでやってきていますが、ポイントを獲得できて本当に良かったです。今シーズンに向けてタイヤも変更しましたし、ひとつずつ試しながらやってきていますが、今日も試しながら戦ってきたレースでした。なんとなく「正解」が見えはじめている気がしますね。今回のレースも面白いレースでしたし、今後もさらに面白いレースを皆さんにお見せできるのではないのでしょうか。僕もすぐ期待していますよ！

**Tomonobu Fujii** Driver

公式練習ではクルマのバランスも良かったのですが、選択するタイヤに悩み、公式予選でもオーバーステアに苦しみ、下位になってしまいました。さらにレースでも序盤のスティントはかなり苦しく、ペースが上げられない状態だったのですが、そこで早めにピットインし、違うタイヤでケイ選手に交代する作戦を採りました。ピットワークもすごく速かったですし、序盤のペースから考えると、ポイントを獲得するとは思っていなかったのですが、今回はチームの総合力のおかげで獲れたポイントではないでしょうか。次戦もさらに上を目指して頑張りたいですね。

**Kei F Cozzolino** Driver

前戦でお恥ずかしいミスをしてしまい、ポイントチームにもたらすことができず悔しい思いをしていましたが、なんとか今回はそれを取り返したいと挑みました。予選は苦しい結果になり、ポイントは難しいかと思いましたが、藤井選手のレース序盤からのフィードバックがあったので、タイヤ選択が当たりいいペースで走ることができました。戦略も良かったですし、タイヤの選択や藤井選手の序盤の頑張りなど総合力があればこそその結果だったと思います。次戦もアストンマーティンは強いと思いますので、いい結果が出ることを期待しています。


pacific-racing.jp / dstation-racing.jp

[@pacificracing](https://twitter.com/pacificracing) / [@dstation_racing](https://twitter.com/dstation_racing)

[DstationRacing](https://www.facebook.com/DstationRacing)

2020 NEWS
RELEASEVol. **4**

PACIFIC
RACING TEAM



 SUVといえば


 NAKAHON AUTOMOTIVE COLLEGE
 中日本自動車短期大学







愛知電線
 AICHI ELECTRIC WIRE


 東邦ロジスティクス
 TOUHO Logistics



 Fujita Corporation


 有限会社 ナリーエンタープライズ
 NALLY ENTERPRISE INC.
 Valuable Information for you


UMEDA
 GROUP


 中日本氷糖株式会社


 StylePlus 名古屋



ホームプランナー
 Real estate service


 新英金属株式会社




HOUSER

 シンコーグループ
 新見薬品株式会社



 印刷・広告サイト
 DESIGN PRINT
 SQUARE
 design-p-s.com


GT-300CLASS Car NO.9
PACIFIC NAC D' station Vantage GT3